

(別紙報告様式)

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(令和5年度報告)

市町名: 安芸太田町

1 事業評価報告

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価
										被害金額			被害面積			
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	
安芸太田町有害鳥 獣捕獲対策協議会	安芸太田町	令和2年度	イノシシ	なし	-	安芸太田町有 害鳥獣捕獲対 策協議会	-	-	-	283千円	400千円	-277%	47a	78a	-520%	
			サル							229千円	33千円	884%	84a	2a	1011%	
			タヌキ、キツネ、アナグマ							4千円	16千円	-	3a	20a	-	
		令和3年度	ヌートリア	-	4千円		-	-	6a	-						
			カラス	-	7千円		-	-	2a	-						
			ハト類	-	被害報告なし		-	-	被害報告なし	-						
		令和4年度	トビ	-	被害報告なし		-	-	被害報告なし	-						
			サギ類	911千円	1,012千円		-	-	-	-						
			カワウ	1,687千円	1,875千円		-	-	-	-						
		イノシシ捕獲檻	10基	令和5年2月	100%		捕獲檻の数の増加によ り、被害場所への迅速な 対応が可能になった。	-	被害報告なし	-	-	被害報告なし	-			
								1千円	被害報告なし	-	1a	被害報告なし	-			
								32千円	被害報告なし	1166%	23a	被害報告なし	1250%			

注1)被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載してください。

注2)達成率の算出方法については「実績値(=基準年値-実績値)÷目標値(=基準年値-目標値)」であるとして算出してください。

※達成率のうち、計算の過程で分母または分子が0となり計算できない項目についても「-」表記とした。

2 第三者の意見

コメント: 豚熱の影響等によりイノシシによる被害は減っているものの、町内においても地域差があり、依然として掘り起し被害が多い地域があるため、引き続き捕獲に取り組んでいただきたい。一方、シカについて農業被害は出ていないものの、年々目撃が増えてきている。農業被害が本格化する前に効果的な捕獲方法を研究し生息域拡大に歯止めをかけていただきたい。また、こうした取り組みを支える実施隊員は高齢化等により減少傾向にある。後継者の確保についても補助制度の拡充等支援が必要ではないか。(株式会社 百姓屋 代表取締役 栗栖智典)

注) 第三者の名前・所属・役職等を記載のこと。